

# 東区まちまちなちの会



東区まちそだての会は、西尾典祐氏を中心として、2001年に発足しました。史跡案内板の制作に協力したり、イラストマップとポストカードを発行したり、イベントを開催したり…「文化のみち」の魅力を広く伝える活動をしています。



3月に開催される「早咲き桜みちまつり」では、文化のみち二葉館の入口側に、早咲き桜みちの歴史を記した案内板を置いています。

11月に開催される「歩こう！文化のみち」では、初回から実行委員に参加。2023年には、4年ぶりに企画参加し、愛知商業高校ユネスコクラブの販売会、風進舎の人力車乗車体験を催しました。

## 「文化のみち」とは

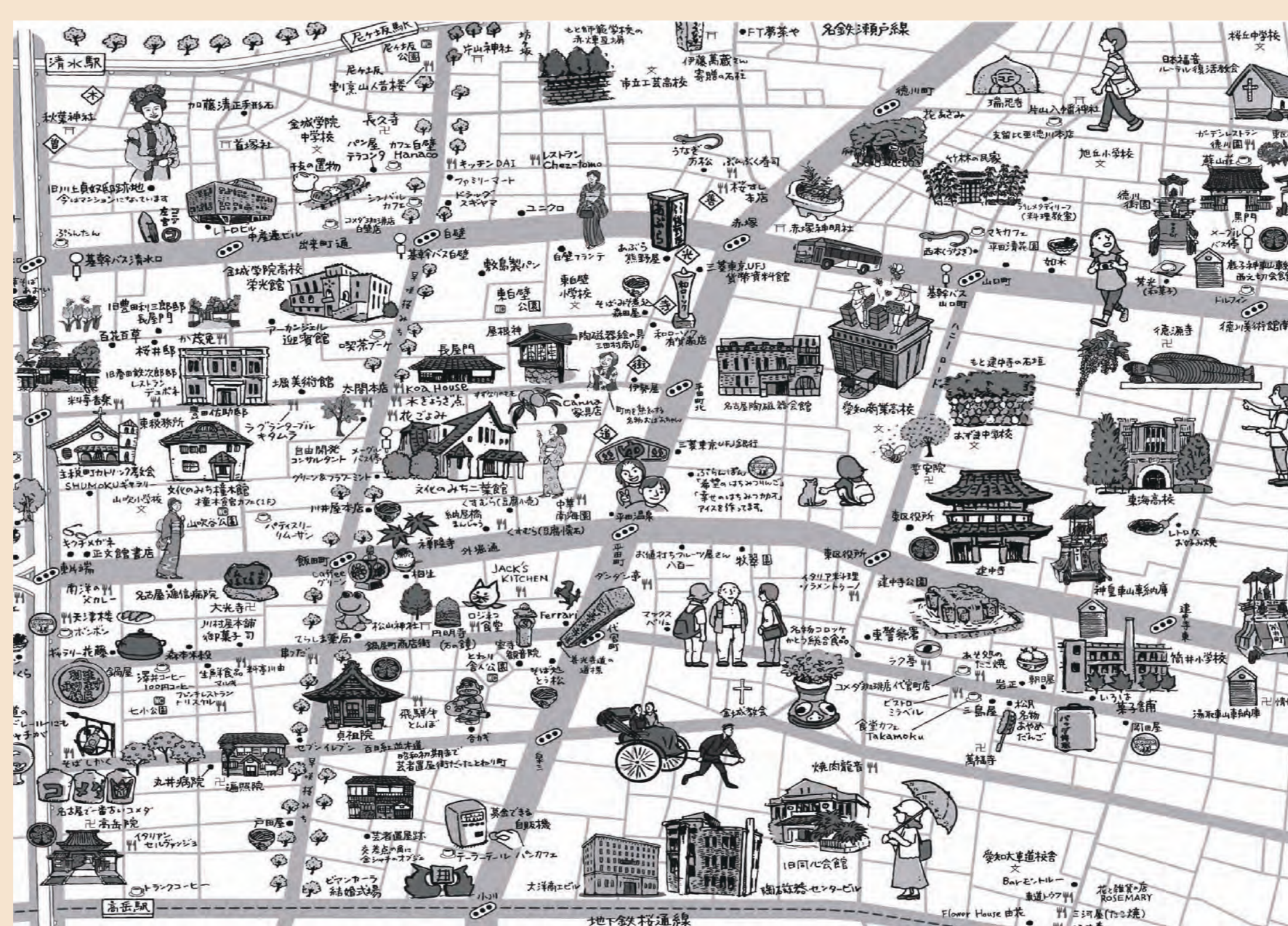
名古屋城から、その東側の徳川園・建中寺にいたる地域を「文化のみち」と称します。

江戸時代は、中級武士の住む屋敷町でした。

通常、明治維新によって武士社会が崩壊すると、屋敷町も形を変えていくのですが、当地区はかなりの部分で屋敷町の区割りが残りました。

明治に入って殖産興業の流れに乗り、成功した実業家の私邸になったり、禁教が解かれて興隆になった基督教の施設や学校に転じたりしました。またそ

うした場を利用したサロンや交流会も催され、思想家や文人たちを輩出しました。名古屋の一画を占める文化の香り高い地区。それが「文化のみち」なのです。



## 文化のみちイラストマップ

手にとりやすいA5サイズ。展示会場にて無料配布しています。どうぞお持ち帰りください。



(西尾典祐)